

特定非営利活動法人がんと暮らしを考える会

第7回総会



2020年5月22日

<http://www.gankura.org/>

名称： 特定非営利活動法人がんと暮らしを考える会

住所： 東京都港区高輪 1-4-8-1307

電話： 090-4457-1975

Email: info@gankura.org

特定非営利活動法人がんと暮らしを考える会
第7回総会次第

1. 総会開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 定足数確認
4. 議長選任
5. 議事録署名人
6. 議事
 - 第1号議案 2019年度活動報告承認に関する件
 - 第2号議案 2019年度決算報告・監査報告に関する件
 - 第3号議案 定款変更について
 - 第4号議案 役員選任に関する件
 - 第5号議案 2020年度事業計画・予算報告に関する件
7. その他
8. 閉会宣言

◆第1号議案

2019年度 特定非営利活動法人がんと暮らしを考える会 活動報告

1. 会議

総会 第7回 総会 2020年5月22日
場所:東京都港区高輪 1-4-8-1307

2. 会員数

個人 101名、法人 2件
(総会参加申し込み●名、委任状提出●名、未提出●名)事業

3. 各事業

(1)がん患者向け制度検索システムの制作と更新

●2019年「がん制度ドック」

・認知度は増えており、リンク先も医療機関から直接リンクされています。

年間訪問者数 70,856人(2019年4月1日～2020年3月31日)

↑ 88,725人(2018年) ←66,939人(2017年) ←62,660人(2016年)

・北海道新聞や小野薬品のサイトに取材を受けるなど、引き続き注目されています。

・更新作業

2019年11月の定期会でディスカッションも行われ、サイト更新のための見積(約160万円)まで行いました。費用を集めるにあたってクラウドファンディングを行うことを秋にかけて検討しましたが、金額も大きく多くの方への広報が必須であることから、全国フォーラムのある12月～3月にかけて具体的にすることはできませんでした。

(2)がん患者と医療従事者へのシステム活用の普及啓発活動

●がん患者向け「がん制度大学」

東京都港区の施設でレクチャーを行いました。初回5回を単独開催で、後半5回を施設と共催でのべ約130名の参加者にレクチャーと質問会を行いました。

●がん患者向け講演会・イベント

臨床腫瘍学会の市民向け講座、病院の市民公開講座、相談会前のミニレクチャー、テレビ出演などの機会がありました。

がん患者向けのイベントではブース出展4回を行いました。

●がん患者向け「がん制度だより」

毎月を目標にマンガの配信を行いました。登録者は1912人となっています。

作成者との打合せ、内容の調整、記事の執筆・確認、配信設定等で負担が大きくなり、過去4回の配信の後、一時停止しています。

●医療従事者向け講演

医療機関の医療従事者向けに4回、大学看護学部で2回の講義・講演を行ないました。

(3)がん患者の経済的な問題を支援できる専門職のネットワーク作り

●定期会の実施

2019年度は関東での定期会を4回、関西での定期会を2回行いました。2020年3月関西定期会は開催中止といたしました。

参加者が常に20名を超えるようになってきました。収益も維持できるようになってきました。関西の定期会には、助成金を活用しました。

●石川でがんと暮らしを考える会

2019年度は石川県で医療従事者や専門家向けに3回の講義と1回の市民公開講座を企画しました。3回の講義は実施することができましたが、3月に行う予定であった市民公開講座は新型コロナウイルスの影響で中止いたしました。「地産地消」を念頭に地域で普及することを目的に活動しました。

好評を得ましたが、助成金の活用による事務局の負担が大きく改善の余地がありました。

●全国フォーラム

2020年1月に兵庫医科大学病院にて第5回全国フォーラムを行いました。参加者約70名の参加がありました。講義・関西の参加者が増えNPO活動が認知されていました。講義内容・グループワークも効果的でした。

●会員向け「定期会動画」

パスワード管理による会員ページの閲覧、会員限定公開の定期会動画の再生回数はほとんど伸びていません。会員ページはあまり活用されていませんでした。

●会員向け「メールマガジン」

毎月1回会員向けに配信しているメールマガジンは、会員を紹介する企画については執筆者が不足し、事実上、イベント情報の提供が中心となりました。工夫の余地があります。

(4)がん患者の経済的な問題等に関する個別相談事業

●医療機関・施設

2019年度は都立病院2病院が新たに相談事業に参加し、加えて港区の患者支援施設1施設を加え11の施設で定期的な相談会を行うことができました。相談員の配置も大幅に再編することになりましたが、各病院でトラブルなく実施することができました。また、新期相談員の導入に伴い、東京の相談員が兵庫県に3回支援参加しました。

●相談員ミーティング

2019年度は個別相談事業で相談員を務める社労士・FPがZOOMを用いて、2019年4月から偶数月に相談員ミーティングを行い、各病院の現状や患者相談の報告を行いました。相談員が話す機会が増え、病院で使用する資料も統一することができました。相談員の相談協力費を1割増額しました。

●NPO 保険

相談員の移動や相談時のトラブルに備えた保険の加入を行いました。利用することはあり

ませんでした。非常時に備える体制を構築しました。

●オブザーバー制度

埼玉県立がんセンター、順天堂大学医学部附属浦安病院で、実際の相談を見学することができるオブザーバー制度は、制度を維持しつつも2019年度はアクティブな活動は行っていません。

●FP基礎講座

ファイナンシャルプランナーの養成のファーストステップとして、近代セールス社と共催で単位認定講座を2018年度2019年3月に実施、2019年度は時期が遅れ2020年4月に企画しましたが実施にはいたっていません。

●データセンター

2018年度より相談レポートの一元管理を目的にデータセンターの仕組みを構築しました。改正個人情報保護法に基づいて、敦賀市立看護大学の助教 池原弘展先生が管理を行います。2019年度は防衛医科大学校の助教 小林成光先生が2018年度の相談データを集計し、全国フォーラムで公表できるところまでたどり着きました。

(5)管理運営

●事務分担

2018年度、事務局を設け理事長・事務局長と中心とした管理体制の再構築を図りました。2019年度、病院数・相談員・会計項目・管理イベント・情報配信量・打合せなど全ての活動が増加しました。そのため、事務作業員を1名増員しました。事務局長・事務スタッフ合計2名で522時間となりました。

他に理事長・理事の2名分の月次作業コストを発生させましたが、まだ時間に見合っているとは言い難い状況です。

●寄付金

2019年度より寄付金を「3コインサポーター」として月300円の寄付を集めることになりました。2020年4月までに20名の方が継続して支援してくださっています。これによって「がん制度だより」「がん制度大学」の構成予算に充てています。

その他にも10万円を超える寄付金が1社からありました。これらの厚意に対するお礼のためのイベント企画は2020年夏に企画することにしていました。

●業務効率化

2018・2019年度と続けて顧客管理システム salesforce、会計 freee を導入、通信システム ZOOM など業務効率を上げるためのシステムを導入しました。

NPO 運営コンサルタント、salesforce システムコンサルタントを非常時のみ相談するという形で予算を組みました。システムコンサルタントについては効果的でしたが、運営コンサルタントについては積極的に機能させることができませんでした。

◆第2号議案

決算報告・監査報告

※別紙参照

◆第3号議案 定款変更について

住所地の変更

旧)〒108-0074 東京都港区高輪2-1-11-604

新)〒108-0074 東京都港区高輪1-4-8-1307

◆第4号議案

役員選任に関する件

2年間の任期の2年目となり変更はありません。

理事長 1名 賢見卓也

理事 3名 岡本英夫

近藤明美

石田周平

監事 1名 山崎祥光

◆第5号議案

2020年度事業計画・予算報告に関する件

1. 事業実施の方針

テーマ「身近」

研究会活動からはじまった当NPO法人の取組みは8期目を迎えます。2019年度は「拡張」をテーマとして病院数の増加、相談員の増加、患者向けイベントの増加、地域拡大への準備など、質の担保の時代から量に耐えうる体制を作ってきました。

2020年度を迎え新型コロナウイルスの影響が大きい社会情勢の中、経済的な困難に直面するがん患者の増加が見込まれます。情報過多の中で、困難に直面している人に対して適切な選択肢の提示と意思決定を支えるのは、まさに専門家の役割と考えます。

質から量へのステップを踏まえたところで、それらがきちんとサービスとして手の届くところにあること、「身近」であることをポイントにしていきたいと思えます。

そのためには、引き続き社労士・FP・税理士・弁護士の相談員を効果的に養成し、そのバックアップ体制を構築すること。また相談者と専門家が接点を持つポイントを作り明確に示すこと。それらを維持するための、体制づくりと費用の準備などを行うことを進めていきたいと思えます。

2. 事業の具体的な内容

・がん制度ドック 更新

7月からクラウドファンディング開始 目標金額 200万円

更新内容①制度の追加、更新（離婚関係、肝がん、コロナ関連など）

②サイトのスマホ対応

③サイトからがんくらの定期的なアクセスへ

④デザインの刷新とブランディング

その他 がん拠点病院へポスター、配布資料データの送付

・がん制度大学

①ういケアみなととの共催 毎月1回

②スポンサーとの共催 不定期（年10回程度）

主に YOU TUBE LIVE 配信

スポンサー案）保険会社、製薬会社、病院、患者団体等

企画案）社労士さんに聞いてみよう・税理士さんに聞いてみよう

FPに聞いてみよう・弁護士に聞いてみようなど

・がん制度だより

年4回配信 7月・10月・1月・3月

・定期会 奇数月第4金曜日

■2022年5月22日（金）

中止「退職・倒産・解雇・雇止め等の手続きと対応」@東京

■2020年7月24日（金・祝）

「血液がんの治療経過と社会復帰」@兵庫

■2019年9月25日（金）

「(仮) 病気による困りごとと不動産」@東京

■2019年11月27日（金）

「未定」@関西

■過去の会員向け動画の公開の可否の確認

・石川でがんと暮らし

未定

例）がん制度大学をはなうめとコラボ配信等

- ・全国フォーラム
 - 2021年1月23日（土） 愛知県名古屋市
基調講演 小森康永 愛知県がんセンター

- ・相談員ミーティング 偶数月第4金曜日
 - 各病院報告（トラブル、件数など）
 - 勉強会/情報交換会

- ・相談員養成
 - オブザーバー制度：埼玉県立がんセンター・順天堂大学医学部附属浦安病院
 - トライアル制度：ういケアみなと（社労士のみ）
 - 検討課題：申込方法、対象者、有償化について理事を中心に検討。

- ・FP養成
 - FP基礎講座
近代セールスと共催（新型コロナウイルス等の状況次第）
 - FP部会
4月25日より意見交換から開始
目的①FPの養成や増員を目的
②FPが身近になるエントリーレベルのサービスの検討
③金融関係機関との連携の準備

- ・データセンター
 - 白書作成
敦賀市立看護大学 池原助教、防衛医科大学校 小林助教、FP黒田尚子

- ・データセンター
 - 3コインサポーター
目標：100名を目指す 認定NPO法人化への準備

- ・会員・寄付者との交流
 - ZOOMでの定期交流会
案) 地域別交流会、活動報告
 - 寄付者との交流
案) ステッカーの配布、期待すること等のインタビュー

以上